

教育だより

児童生徒のみなさん
ひとりで悩まないで…

こま

しんぱい

そうだん

困っていること・心配なことを相談してみませんか

新型コロナウイルス感染の拡大を防止するため、学校が長い期間お休みになりました。

外出できなかったり、お友達にも会えなかったり、みんなが『がまん』の日々を送っています。

不安に思っていることや困っていることはありませんか？

そんなときは、お父さんやお母さん、学校の先生など周りの大人に相談しましょう。

お父さんお母さんや先生には相談しづらい場合には、ほかにも相談できる窓口があります。

ひとりで思い悩まずに、ぜひ利用してください。

相談方法などは、区ホームページにて「教育相談室」で検索いただきか、右記QRコードからご確認ください。



相談窓口に電話してみよう

教育や心理の専門相談員が相談をお受けしています。

月～土曜日の午前9時～午後5時(金曜日は午後6時まで)にお電話ください。

※日曜日、祝休日、年末年始はお休みです。

- 学校教育支援センター教育相談室 電話 03-5998-0091
- 学校教育支援センター練馬 電話 03-3991-3666
- 学校教育支援センター閑 電話 03-3928-7200
- 学校教育支援センター大泉 電話 03-6385-4681

メールでも相談できるよ

区ホームページ「教育相談室」で検索いただいたサイトの「教育相談メールフォーム」または、右記QRコードからご相談ください。



学校にも相談できる人がいます

区立小・中学校では、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員が、子供や保護者の方のご相談をお聞きし、メンタルケアなどを行っています。

★スクールカウンセラーってどんな人？

臨床心理士などの資格を持った専門の相談員です。子供や保護者の方の様々な相談をお受けし、心のケアを行っています。全ての区立小・中学校に配置しています。

★心のふれあい相談員ってどんな人？

スクールカウンセラーと一緒に区立小・中学校で教育相談を行っているボランティアです。子供たちの悩みや相談、話し相手を担当しています。

【問合せ】学校教育支援センター(電話6385-9911)

子育てについてのお悩みはこちらまで

子供と家庭の総合相談を実施しています。

お子さんとの遊びやしつけ、健康など子育てについてのさまざまなご相談は子ども家庭支援センターへどうぞ。

名 称	電話番号	受付日時 ※祝休日を除く
練馬子ども家庭支援センター練馬駅北分室	03-6758-0141	月～金曜 9:00～19:00 土曜 9:00～17:00
関子ども家庭支援センター	03-5927-5911	月～土曜 9:00～17:00
光が丘子ども家庭支援センター	03-5997-7759	月～土曜 9:00～17:00
貫井子ども家庭支援センター	03-3577-9820	月～土曜 9:00～17:00
大泉子ども家庭支援センター	03-3925-6713	月～土曜 9:00～17:00

その他、0～3歳の乳幼児親子が利用する「子育てのひろばぴよぴよ」でもご相談を受け付けておりますので、ご利用ください。

【問合せ】練馬子ども家庭支援センター 育児支援係(電話3993-8155)



第四次練馬区子ども読書活動推進計画を策定しました!

区では、子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けられるよう、子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性と取組の体系を示す「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」を策定しました。

引き続き、子どもの発達段階に応じた読書活動を推進するための取組の充実を図り、一人ひとりが多くの本と出会い、読書を通して明るい未来を築けるような環境づくりに努めていきます。



～目標～

1. 乳幼児の読書活動の推進
2. 小中学生の読書活動の推進
3. 高校年代の読書活動の推進
4. 支援を必要とする子どもの読書活動の推進
5. 読書活動推進の基盤づくり

～重点取組～

- ★乳幼児期の家庭読書の推進
- ★学校図書館の利活用の推進
- ★高校年代に向けた情報発信の充実
- ★障害等に配慮した資料の充実
- ★関係団体との連携およびネットワークの強化

【問合せ】光が丘図書館 子供事業統括係(電話5383-6500)

第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画を策定しました!

区では、安心して子どもを産み育てられ、子どもたちが健やかに成長できる環境の実現を目指すため、区の子ども・子育て支援施策の方向と具体的な事業計画を示す「第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

今回策定した計画では、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化による需要の増加を考慮した、今後5か年にわたる需要見込みと供給計画を示しています。

家庭で子育てがしたい、子どもを預けて働きたいなど、多様化する子育てサービスのニーズに応える施策を展開することで、子育てのかたちを選択できる社会を実現していきます。



～基本方針と目標～

- 妊娠・出産期～：子どもと子育て家庭の支援の充実
目標：子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実
- 乳児～幼児期：子どもの教育・保育の充実
目標：子育てのかたちを選択できる社会の実現
- 小学生～中高生年代：子どもの成長環境の充実
目標：すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり
- 支援を必要とする子どもや家庭への取組
目標：ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援

【問合せ】こども施策企画課 こども施策担当係(電話5984-1306)

計画は、区民事務所(練馬を除く)、図書館、区民情報ひろば、各担当部署、区ホームページなどでご覧になれます。
また、第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画は区民情報ひろばで購入できます(1冊500円)。

第四次練馬区子ども読書活動推進計画の詳細について

【区ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keikaku/shisaku/kyoiku/0662073612020032313.html>

QRコードはこちら→



第2期練馬区子ども・子育て支援事業計画の詳細について

【区ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kodomo/shinshien/kokokeikaku2nd.html>

QRコードはこちら→



(仮称)これからの図書館構想の策定に着手します!

区では、概ね10年間の図書館サービスの方向性を示す「練馬区立図書館ビジョン」を平成25年6月に策定し、これに基づく各種取組を進めてきました。

この間の、図書館をめぐる環境の変化を踏まえ、多様化する区民ニーズに対応し地域における情報発信機能の強化を図るために、「(仮称)これからの図書館構想」の策定に着手します。

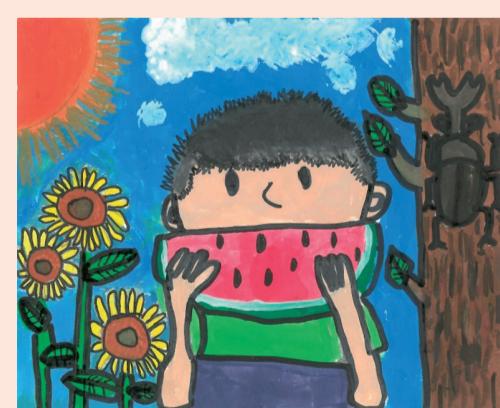
【問合せ】光が丘図書館 計画調整係(電話5984-1325)

令和2年度練馬区青少年育成活動方針を策定しました

区では青少年育成活動方針に基づいて、地域と一緒に、青少年の健全な育成を図っています。令和2年度の練馬区青少年育成活動方針では、以下の目標を示しています。

目標

- 1 心のかよう明るい家庭づくりを進めよう
- 2 青少年の社会参加の機会を増やそう
- 3 健全で安全な社会環境づくりを進めよう
- 4 家庭・学校・地域・関係機関の連携を深めよう



桂原 弘青さん 作画
(早宮小学校3年時)

【問合せ】青少年課 青少年係(電話5984-4691)

練馬区ならではの新しい児童相談体制の始動

区の地域に根差したきめ細かい支援と、都の広域的・専門的な支援を組み合わせた実質的な連携により
迅速かつ一貫した児童虐待への対応や区子ども家庭支援センターのレベルアップを図ります

1 「練馬区虐待対応拠点」の設置

- 練馬子ども家庭支援センター内に「練馬区虐待対応拠点」を設置し、都児童相談所の職員が、定期的および必要時、虐待相談等に対応します。

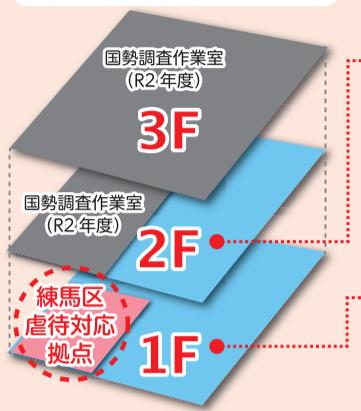
都区の連携による持続的な拠点を目指します！

2 練馬子ども家庭支援センターの人員増と移転

- 練馬子ども家庭支援センターの人員を8名増加し、センターを移転します。

子ども家庭支援センターの体制を強化します！

令和2年度の施設イメージ



2F 練馬子ども家庭支援センター

【主な施設】

- 会議室(都区共用)
- 書庫・職員リフレッシュルーム等

【虐待対応に係る主な業務】

- 関係機関との会議
- 支援方針の検討
- 研修など

1F 練馬子ども家庭支援センター

【主な施設】

- 子ども家庭支援センター事務室
- 練馬区虐待対応拠点

【虐待対応に係る主な業務】

- 虐待通告に基づく家庭訪問
- 児童や保護者との面接
- 区子センとの合同調査・合同面接など

【問合せ】こども施策企画課 こども施策担当係(電話5984-4540)



地域の中で育つ子どもたち ～ふれあいの機会を増やす取組～

桜台保育園



桜台保育園は平屋造りで、乳幼児クラスとも直ぐに園庭に出ることが出来る環境です。そのため、自然に異年齢の交流が生まれています。全職員がこの関係を向上させる思いを持ち、積極的に交流の場をつくることで1年の間にクラスを超えた心の繋がりが育まれていきます。

また、こうした在園児同士の交流だけではなく、子どもたちの育ちを更に深めるため、園外の方々と交流することにも力を注いでいます。

例えば、小中高校生の職場体験や保育実習生の積極的な受け入れ、ボランティア団体の方々に来ていただき「万華鏡」や「安全マップ」の作り方を教わる機会などがあります。時には、園と連携しているカメラマンから「カメラで遊ぼう」という企画の中で写真の撮り方や楽しさを学ぶこともあります。連携している家庭的保育者や小規模保育事業の乳児との地域交流の場では、在園児が視線を下げて声を掛ける姿が見られ、このような体験が貴重な機会になっていることを実感します。

また、年長児が近隣園の子どもたちと公園や園庭でゲームや運動遊びを楽しむ機会もあります。その際には、互いに就学先を聞いて「私と一緒に」と喜びの声があがつ



たり、「また遊ぼうね」と再会を約束するなど、就学への期待が膨らむ様子がうかがえます。起震車体験は、練馬総合グラウンドの駐車場で練馬保育園の子どもたちと一緒に行っています。この際にも「この前会ったね」との会話があり、互いの出会いが繋がっていることを嬉しく思います。

日々の保育を充実・向上させるのは勿論ですが、それだけでは味わえない、体験できないことがこうした園外の方々との交流で果たすことができます。今後もこのような取り組みを継続し、地域の方々にも『ここに保育園があって良かった』と思っていただけるように、みなさまとの交流を大切にしていきたと考えています。



【問合せ】保育課 管理係(電話5984-5839)

令和2年度の教育関連予算の主な事業を紹介します

保育サービスの充実 (40億5,444万円)

- 保育需要の増加に対応するため、新たに認可保育所を9カ所(定員410名)整備(11億6,933万円)
- 認可外保育施設への東京都福祉サービス第三者評価受審費用の補助を新たに実施するなど、安全・安心な保育環境を確保(25億6,494万円)
- 保護者の就労形態やニーズの多様化に応えるため、「練馬こども園」を3園拡大(3億2,016万円)



子育てサポートの充実 (2,418万円)

- 子どもが学び・遊ぶ機会や、保護者が交流・リラックスできる「練馬こどもカフェ」を5カ所に拡充(193万円)
- 育児のリフレッシュに利用できる「乳幼児一時預かり」のインターネット予約システムを運用開始(502万円)
- 妊婦検診や乳幼児健診情報などを電子化する「母子健康電子システム」を構築(1,723万円)

練馬区ならではの新しい児童相談体制の始動 (6,627万円)

- 練馬子ども家庭支援センター内に「練馬区虐待対応拠点」を設置し、都児童相談所の職員が相談や調査のほか、広域的・専門的な支援に対応するなど都と区が連携して体制を強化
- 練馬子ども家庭支援センターを移転し、人員を8名増加して児童相談体制を強化



小学生の放課後等居場所対策 (17億6,688万円)

- 学童クラブとひろば事業を一体的に行う「ねりっこクラブ」の早期全校実施をペースアップし、4月に8校、来年度には10校で開設予定(15億724万円)
- 夏季休業中の子どもたちの居場所を確保するため、夏休みひろば事業を拡充(2,071万円)
- 待機児童が多い地域や児童の急増が見込まれる地域に、民間学童保育を2カ所誘致するほか、地域の状況を考慮した個別対策(ひろば事業の拡充等)も実施(2億3,893万円)

夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成 (73億4,517万円)

- 令和4年度までの3年間で児童生徒全員が1人1台タブレットパソコンの利用を開始(2億6,393万円)
- 小学校のALT(外国語指導助手)配置の拡大や中学校の4技能(聞く・話す・読む・書く)検定の実施など、英語指導を充実(3億2,996万円)
- 安全で快適な教育環境とするため、小中学校の改築を推進(54億4,521万円)
- 熱中症対策や災害時の避難拠点として良好な環境になるよう、小中学校の体育館に空調機を設置(13億607万円)



【問合せ】教育総務課 庶務係(電話5984-5609)

令和元年度 練馬区立学校(園)の研究発表

教育委員会では、区立幼稚園、小中学校、小中一貫教育校の中から毎年15校(園)程度を「教育課題研究指定校」等として指定し、幼児・児童・生徒の学力や体力の向上、心の教育の充実などの教育課題に関する研究を推進しています。昨年度の指定校の中から、4校の取組を紹介します。

大泉第六小学校 (令和元年11月1日発表)

主体的に伝え合う児童の育成
～文学的文章の指導の工夫を通して～

研究の取組

目的を明確にした
話合い活動を実践し、国語科における
物語文の指導改善を
図った。

研究の成果

発問や授業構成
を工夫することによ
り、話合いへの意欲
や伝える力が向上し
た。



練馬第三小学校 (令和元年11月29日発表)

運動に親しみ、自らの力で
健康的な生活を営む児童の育成

研究の取組

体育の授業・体育的活動の工夫、保健
学習や食育の充実など、総合的な健康教
育の取組を行った。

研究の成果

運動の楽しさを味わ
い、体育の授業を肯定的
に捉え、確かな知識を基
に健康的な生活を送る
うとする児童が増えた。



上石神井北小学校 (令和2年1月31日発表)

豊かな心を育む道徳教育
～道徳科の対話的な学びを通して～

研究の取組

「対話的な学び」
に重点を置いた道徳
科の授業づくりと教
員の指導力の向上
に取り組んだ。

研究の成果

進んで自分の考え
を伝えたり、友達の
考えを聞いたりしな
がら、考えを深める
児童が増えた。



練馬中学校 (令和2年2月14日発表)

「特別支援学級での楽しい武道授業」の実践
～特別支援学級における柔道の指導～

研究の取組

特別支援学級の生
徒の特性や運動経験
を踏まえ、柔道の指
導方法についての研
究を進めた。

研究の成果

主体的で、安全に
取り組めるように指
導を工夫したことで、
体育への学習意欲が
向上した。



【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

中学校教育課程編成資料作成委員会 報告会開催

令和3年度から中学校は、新学習指導要領に則った指導を開始します。(一部の教科、領域は移行済み)各学校が、新学習指導要領を分析し、各校における指導、教育課程の編成について工夫する必要があります。

練馬区では、平成30年度から令和2年度まで中学校教育課程編成資料作成委員会を発足し、中学校の教科等に対応した14の部会(総則部会、国語部会、社会部会、数学部会、理科部会、音楽部会、美術部会、保健体育部会、技術部会、家庭部会、外国語部会、道徳部会、総合的な学習の時間部会、特別活動部会)を立ち上げました。本委員会は、松丸 晴美委員長(元練馬区立石神井西中学校校長)を中心に、教科等を専門とする校長、副校長、教員で部会を組織し、2年間研究を積み重ねてきました。

そして、各部会は研究成果を資料にまとめ、令和2年2月27日(木) 練馬区立大泉第二中学校にて研究成果の報告を行いました。

作成した資料

中学校教育課程編成資料

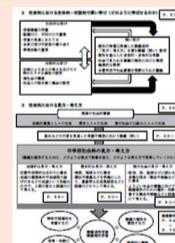
～新学習指導要領の趣旨を踏まえた 教育課程の編成に向けて～



練馬区立学校、
幼稚園に配布

総則部会ページ

社会部会ページ



報告会の様子

委員長あいさつ



道徳部会 報告

国語部会 報告



理科部会 報告

【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

練馬区キャリア・パスポート

令和2年4月から、全国の小学校・中学校・高等学校において、「キャリア・パスポート」の取組が始まります。

「キャリア・パスポート」とは?

子どもたちが、学校でのさまざまな活動(行事や各学期の節目の取組等)を通して、自分の役割の価値や他人と自分との関わり合いを見通したり、振り返ったりしたことをファイル等に蓄積し、自身の変容や成長を捉え、自己評価できるように工夫されたもの。

- 令和2年度から全学年(小1~高3)で実施します。
- 各学年および各学校間で引き継いでいきます。

- キャリア教育に関わる様々な活動について、学びの過程を記述し、振り返ることができるポートフォリオを作成していきます。
- 将来の社会生活や職業生活を展望するために活用します。

【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしておりますので、下記のホームページアドレス、またはQRコードからアクセスし、「教育だよりのご感想・ご要望はこちちら」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成への参考とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

教育総務課 庶務係 <教育だより ホームページアドレス>
<<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyoikudayori.html>>

